

概要版

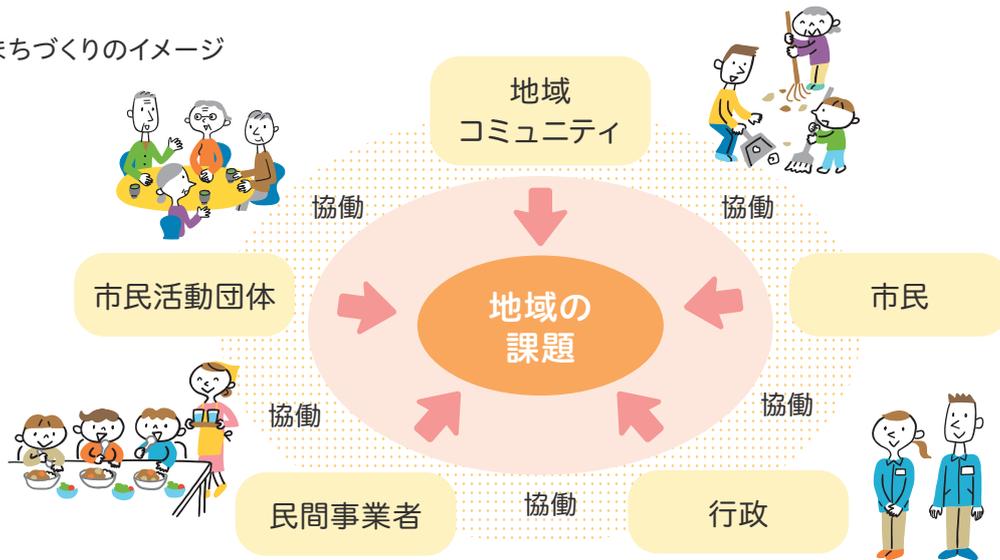
海津市 市民協働推進計画

令和7（2025）年3月
海津市

協働とは

市民、市民活動団体、地域コミュニティ、民間事業者、行政などが、それぞれの持つ特性や資源を活かし、共通の目的に向かって対等な立場で協力し合うことです。協働の基本は、各主体が相互に尊重し、情報を共有しながら、地域活動や課題解決に、協力して取り組むことにあります。市では、多様化・複雑化する地域課題や市民ニーズに対応するため、協働によるまちづくりを推進しています。

■協働のまちづくりのイメージ



—— 市民協働計画をつくる目的は？ ——

昨今の少子高齢化による人口減少や社会経済情勢の急速な変化により人々のライフスタイルやニーズの多様化が進み、地域のつながりが希薄になっています。このような地域の複雑な課題に対しては、従来の画一的なサービスだけでの対応が難しくなっています。海津市が持続可能なまちであり続けるためには、市民、行政および様々な主体がそれぞれの責務を明らかにし、協働でまちづくりを進めていくことが求められています。

市民、行政がお互いを尊重しながらまちづくりを進めていくため、「海津市市民協働推進計画」を策定します。

■計画期間

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)
海津市第2次総合計画後期基本計画					
海津市市民協働推進計画					



—— 基本理念 ——

一人ひとりが「まちづくりの主役！」 市民協働で「創るかいづの未来」



基本理念に込めた思い

「一人ひとりがまちづくりの主役」

協働のまちづくりにおいて、市内在住・活動する団体や法人含む市民一人ひとりが欠かせない存在であることを表しています。



「市民協働で創るかいづの未来」

市民一人ひとりが自主性と協力性を持ち、個々が創り出す小さな活動がより大きな力となって変化をもたらすことの重要性を示し、かつ手を取り合いながら社会が直面している様々な課題を解決し、次世代へつないでいくことを表現しています。



アンケートからみる課題

市民の意識

市民協働の認知度



20.2%



(市民アンケート 回答数793件(単数回答))

団体の課題

1

メンバーが高齢化している ▶ 71.4%



2

新しいメンバーがなかなか入ってこない ▶ 66.7%

3

特定の個人に責任や作業が集中する ▶ 13.5%

(団体アンケート 回答数126件(複数回答))

団体がまちづくり協働センターにもとめる機能

1

自由に利用・交流のできるスペース(会議・打合せ・作業等)の提供 ▶ 34.1%

2

活動の担い手となる人材の育成 ▶ 25.4%

3

市民と団体、団体と団体をつなぐマッチング機能 ▶ 24.6%
活動に対する公共的団体からの補助金等の情報提供 ▶ 24.6%

(団体アンケート 回答数126件(複数回答))

基本目標

基本目標

1



市民協働の意識醸成

市民協働を推進するためには市民の意識の向上と積極的な参加が必要不可欠です。市民協働の意識の醸成は、市民が主体となってまちづくりを行うための最初の一步となり、最も重要な点となるため、基本目標1として設定しています。

基本目標

2



市民協働活動の推進

次のステップとして、市民活動の活性化、継続に向けて、実際に活動に取り組んでいる市民への支援が重要です。そのため市民協働活動の推進を基本目標2と設定しています。既存の活動団体や自治組織の支援を行うとともに人材の確保・育成やマッチング支援を行うことを盛り込み、活動の充実を図ります。

人材の育成は将来の市民活動のリーダーや支援者を育てることにつながり、地域社会の持続的な発展に貢献します。

基本目標

3



市民協働活動の環境づくり

基本目標1、2の下支えをする仕組みとして、まちづくり協働センターを協働のまちづくりの推進拠点として設置し、地域の課題解決やコミュニティの活性化を推進します。

まちづくり協働センターでは、市民活動団体が活動しやすい環境の整備や市民が活動に参加するための情報収集や相談を気軽に行えるようにしていくことが重要です。

また、地域のコミュニティ活動をさらに活発化し、効果的に広げるため、自治会活動に留まらない地域自治の仕組みに向けて検討を進めます。

施策の進め方

基本目標1 市民協働の意識醸成

1 市民協働の啓発・ 情報発信



- 1 市民協働に関する情報発信
- 2 イベントを活用した協働のまちづくりのPR

2 活動参加への きっかけづくり



- 3 市民協働に関する学習機会の提供
- 4 活動に関する相談窓口の設置
- 5 市民と活動団体とのマッチング
- 6 協働活動の情報発信機会の提供

基本目標2 市民協働活動の推進

1 活動の担い手づくり



- 7 市民活動を行う人材の育成
- 8 市民活動団体等の交流機会の提供

2 活動団体の活性化

- 9 多様な活動主体に関する情報の提供
- 10 多様な活動主体間の連携の促進

3 住民自治の 活性化



- 11 区・自治会への加入促進
- 12 自治活動の活性化と負担軽減への取組み

基本目標3 市民協働活動の環境づくり



1 市民活動推進拠点の整備

- 13 まちづくり協働センターの整備

2 新たな地域自治の枠組みづくり

- 14 地域におけるまちづくり協議会の設立推進

指標



	現状値 (令和5(2023)年度)	目標値 (令和11(2029)年度)
市民協働という言葉の認知度	20.2%	70.0%
地域のボランティア活動・市民活動に参加したことがある市民の割合	42.2%	70.0%
学生の市民活動への参加人数	一人	100人/年
マッチング件数	一件	200件/年
登録団体の会員数	590人 (令和7(2025)年3月現在)	1,700人

	現状値 (令和5(2023)年度)	目標値 (令和11(2029)年度)
ボランティア活動・市民活動の満足度	55.9%	75.0%
市民協働に関するセミナーの受講者数	86人 (令和6(2024)年度)	240人/年
市内で活動する市民活動登録団体数	15団体 (令和7(2025)年3月現在)	100団体
補助事業実施件数	3件 (令和6(2024)年度)	20件/年
自治会加入率	79.9% (令和6(2024)年度)	80.0%
区・自治会活動の満足度	36.9%	60.0%

	現状値 (令和6(2024)年度)	目標値 (令和11(2029)年度)
まちづくり協働センターの利用人数	一人	3,500人/年
まちづくり協働センター満足度	-%	80.0%
まちづくり協議会の設立(モデル地区)	一か所	1か所

まちづくり協働センターの機能

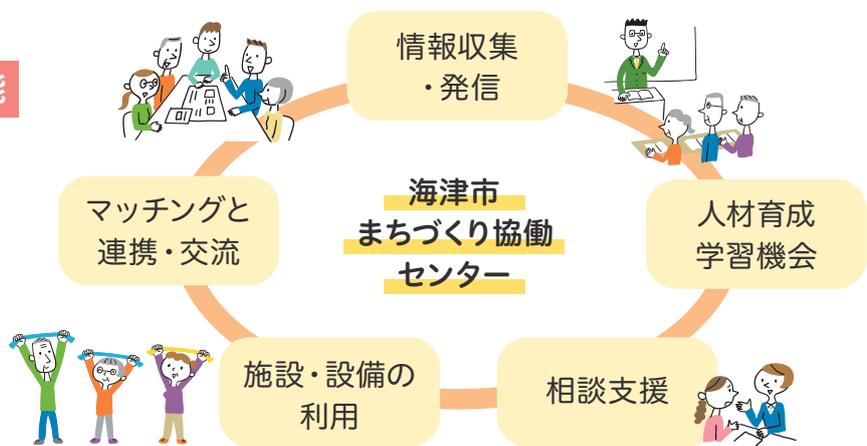
目的

市民が自主的・自立的に行う市民活動を総合的に支援します。また、市で活動する多様な主体の交流を促進し、協働によって新たな価値や解決策を創出する「共創によるまちづくりの推進」を図ります。

利用対象

- ▶市民
- ▶市民活動団体（NPO法人、ボランティア団体等）
- ▶地域コミュニティ

5つの センター機能



利用できるスペース

- ▶つながりスペース
- ▶かたりあいルーム
- ▶見る知るコーナー
- ▶あつまりルーム
- ▶ひと息コーナー
- ▶貸しロッカー
- ▶キッズコーナー
- ▶おはなしルーム
(相談スペース)
- ▶おしゃべりルーム
- ▶事務所
- ▶ものづくりスタジオ

場所

南濃総合福祉会館ゆとりの森
(海津市南濃町駒野827番地1)

開館時間

午前9時から午後5時まで
休館日：月、年末年始
(12月29日～翌年1月3日まで)

概要版

海津市市民協働推進計画

発行：令和7(2025)年3月
発行者：海津市
編集：海津市 市民生活部 生活・環境課
〒503-0695 岐阜県海津市海津町高須515
TEL：0584-53-3195(直通)
FAX：0584-53-1598